

 中部徳洲会病院 広報誌

が じ ま る



診療科紹介：疼痛治療科

中部徳洲会病院	☎ (098) 932-1110
北谷病院	☎ (098) 936-5611
与勝あやはしクリニック	☎ (098) 983-0055
よみたんクリニック	☎ (098) 958-5775
新都心クリニック	☎ (098) 860-0755
ソフィアクリニック	☎ (098) 923-2110
おきなわ徳洲苑	☎ (098) 931-1215
グループホーム美ら徳	☎ (098) 931-1223
イーストテラスライカム	☎ (098) 923-2567
ちゅうとく訪問看護ステーション	☎ (098) 939-9766
ちゅうとく居宅介護支援事業所	☎ (098) 939-9768
宮古島徳洲会病院	☎ (0980) 73-1100
石垣島徳洲会病院	☎ (0980) 88-0123



がん性疼痛治療 の 最 前 線



Organization Accredited
by Joint Commission International



Japan Medical service Accreditation
for International Patient



Japan Council for Evaluation of Postgraduate Clinical Training

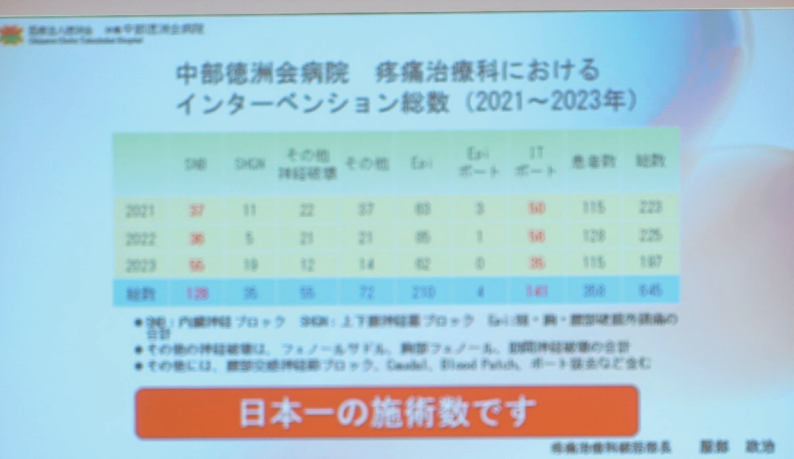
医療法人徳洲会 中部徳洲会病院 地域医療連携室広報
所在地 〒901-2393

沖縄県中頭郡北中城村字比嘉801番地

☎(098)932-1110(代) / FAX(098)931-9595(代)

ホームページ <http://www.cyutoku.or.jp>

E-Mail daihyo@cyutoku.or.jp



服部 前

疼痛治療科では、さまざまながんの痛みに対し、
一人ひとりに合わせた治療を行っています。
診療を行う2名の医師に、疼痛治療への思いや診療内容について伺いました。

与勝病院での講演



服部 政治 疼痛治療科統括部長
前 知子 疼痛治療科部長



疼痛治療科
ホームページ

【疼痛治療科の開設】
質問者：中部徳洲会病院で
疼痛治療科が開設された経
緯を教えてください。

服部：私は2010年に東
京のがん研有明病院にがん
疼痛治療科を立ち上げまし
た。2018年に当院で講
演する機会があって、当時
の院長（現総長）をはじめ
スタッフの皆さんから「ぜ
ひ当院でがん患者の疼痛治
療を行ってほしい」と熱心
に声をかけていただき、そ
の熱意に押されて沖繩に來

ました。幼少期をハワイで
過ごした関係で沖繩にはも
ともと魅力を感じていまし
たし、この技術を徳洲会グ
ループという大きなネット
ワークで、生かしてみると
も医療貢献になるのではと
いう思いも重なって、中部
徳洲会病院に疼痛治療科を
立ち上げることにしました。

前：私も東京警察病院に
服部先生をお呼びした時
に、その技術を見て、修得
して払いたいと思いまし
た。以前から、「医療用麻
薬を使えばどんな痛みでも
取れる」という誤解が、患
者さんだけでなく医師の間
にも根深くあることに疑問
を持っていましたし、がん
疼痛治療の指導者がいかに
少ないか痛感していました
ので、開設のメンバーとし
て沖繩に來ました。

【医療用麻薬は
万能ではない】
質問者：どんな痛みも医療
用麻薬さえ使えば取れるも



沖縄緩和ケア研究会 学術集会（大会長：服部統括部長）

のと思っていましたか？

服部—それが大きな間違いなんです。もしそれが本当なら、手術は麻酔など行わず麻薬を投与するだけでできるはずでしょう？ 医療用麻薬は鎮痛薬の中で確かに強力ですが、万能ではない。医療用麻薬で十分に取れないがんの痛みで苦しんでいる人は数多くいます。がんの種類や進行具合によっては、鎮痛薬だけではなく神経ブロックや脊髄鎮痛法といった専門的な治療が必要なケースがあるんです。それを指導できる医師が、今、日本全国でほとんどいなくなっています。

【専門的ながん疼痛治療】

質問者…専門的な治療法を教える医師がいないのですか？

服部—20年前まではどの大学病院でも指導者がいて、外科や内科の先生ががんの痛みで困ると、麻酔科に神経ブロックを依頼して

いた時代がありました。ところが緩和ケアの全国啓発とともに「麻薬さえ使えば患者さんの痛みは取れる」という誤解が広がり、また、「麻薬が効かないならしかたがない」という流れになり、麻酔科への神経ブロックの依頼がほとんどなくなりました。

前—我々はがん治療医からの依頼があればこの技術を提供することができない。技術を揮うことはできないと後輩を教育することができない。そして20年が過ぎると、指導できる熟練医師は後進を育てることができないまま引退していく。若い医師が技術を知らずに麻薬だけでなんとかしようとする、そこに危機感を感じています。

【国・学会の施策】

質問者…国や医療の世界では対策は考えてないのですか？

服部—近年は国もがん診

療連携拠点病院に疼痛管理体制の充実を求めるようになってきました。この流れを追い風にこれまで培ってきた30年の経験を若い麻酔科・ペインクリニック医師に伝授して、日本全国の地域で質の高いがん疼痛治療を継続してもらいたいと思っています。

前—今年も日本ペインクリニック学会のシンポジストを依頼され、神経ブロック等の技術継承、教育について講演してきました。当院は日本でもっとも実施数が多い病院なので、非常に反響が大きく講演後も問い合わせが相次ぎました。現場もそのニーズを感じていることを実感しました。

【臨床の現場】

質問者…実際の現場は？

服部—外部病院から私たちのところに治療依頼される患者の多くは、大量の麻薬を処方され、末期がんで体を丸めて苦しんでいるよ



緩和ケアチーム

うな患者さんです。医療用麻薬を少しずつ増やさねながら何カ月も痛みがコントロールできないまま体力を消耗してしまふ。紹介されても、すでに体力を消耗していて神経ブロックや脊髄鎮痛法をしてあげることさえできないことも数多くあります。もっと早い段階で神経ブロックすれば、大量の鎮痛薬を飲まなくても孫と楽しく旅行に行つた

り、家族と思ひ出に残る時間をつくることができたはずなのに、と思うことは多々あります。

前― 神経ブロックや脊髄鎮痛法は施術したその時から目に見えて効果が表れることが多いです。患者さんの表情が穏やかになつて、「考える余裕」が生まれるんです。そうなつてはじめて、患者さんと共に治療計画を立てることができるようになります。がんの激痛の中では、そんな余裕はありませんから。そして、今まで痛みで苦しんでいた患者さんが、笑顔で家族と話せるようになるのを見ると、私もうれしくなります。

【紹介事情】

質問者…なぜ、そんなに遅くなつてから紹介されるのですか？

服部― 近隣のクリニックや他科の先生から見ると、神経ブロックは若干ハードルが高いイメージがあるん



若手医師への指導風景

じゃないかと思ひます。また、神経ブロックと医療用麻薬の使い分けについて、末期がんの患者さんを前にしたとき、現場の判断が難しいということもあると思ひます。啓発が必要ですね。前― こういう治療法があると知つていても、実際に痛みが取れて笑顔になる患者さんを見たことがなければ、依頼しようとは思ひえないのでしよう。でも紹介してくれた先生が一度成功体験を持つと、どんどん依頼が増えるんです。依頼しやすい文化を作ることが、普及の一番の近道だと思ひています。

【臨床実績】

服部― 例えば膝がんの腹痛に対して実施する腹腔神経叢ブロックは、厚労省の保険請求データで見ると、日本全体で年間約300例。そのうち60例が徳洲会グループで、ここ中部だけでも40例を超えます。全国で多いとされる病院でも年間10例ほど、大半が5例以下または1例もありません。がんの専門病院でさえほとんどやつていない。「がん疼痛に対する神経ブロックを教わるなら？」といえど真つ先に中部徳洲会病院という名前が上がるほど全国に知れ渡つています。

前― 数字で見ると、当院の実績は際立つていますよね。全国的に見ても、ここまで症例を積んでいる病院はほとんどない。その理由として、ここ沖縄では、そういう治療があるならどんなやつていこうという土壌がある。地域の壁を越えた連携がしやすい。それが

症例数の多さにつながつていふのだと感じます。

【これからの活動】

質問者…最後に、これからの抱負を教えてください

前― 私は当初は服部先生のもとで技に磨きをかけようと思つて沖縄に來ましたが、今は後進の育成のためにこの技術を日本全国に伝えていきたいと思つています。すでに他県の徳洲会グループの病院、大学病院やグループ外病院からの治療依頼、指導依頼が数多く寄せられています。若手医師は技術を修得したくても地域に指導者が居なくて困っているのです。そこに指導しに行つて種をまければ、いつしか全国で芽が出て、以前のようにどこでも実施してもらふようになるのではないかと期待しています。

服部― 医師教育のために「がん疼痛治療普及研究会」を立ち上げました。技

●がん疼痛治療普及研究会について

Society for Interventional Management of Cancer Pain (SIMCaP)

日本ではがん疼痛で苦しんだまま亡くなった方は40%を超えています。一方で、がん疼痛に対する神経ブロックを実施できる麻酔科医師が激減しています。依頼しようにも実施できる技術を持つ医師が居なくなってしまったのです。

16年前、癌の激痛に苦しむ夫をなんとか救いたいと、東京中の病院を回り、偶然、私が当時勤めていた癌研有明病院にたどり着く。背中にカテーテルを入れる処置で、数分に一度だった痙攣が一日数回に落ち着きました。その方が、数年前、私のもとを再訪。「全財産をがんの痛みに苦しむ患者を救える医師の育成に使ってほしい」との申し出でした。

神経ブロックを学びたい医師のいる施設に、経験を持つ医師を無償で派遣する。資金は女性の遺産と賛同する医師たちの私財によるもの。派遣を受けた医師が自分の地域で患者を診て、また次の世代に教えていく。その連鎖が全国に広がった時、どこ



<https://www.cancerpainmanagement.com/>



に住んでいても同じ治療が受けられる日本になる——研究会はその日を目指して活動を続けています。

術指導ができる医師を採用し、前知子先生のように全国に飛んでもらおうと思っています。この活動に興味を持っていただけたのか、先日にも生稲晃子議員から参議院議員会館の勉強会に招聘され、疼痛治療や神経ブロック療法の現状と重要性についてお話しする機会をいただきました。他の議員からも「これは個人に任せ



← 参議院議員会館での勉強会の模様

ていてはいけね、国としても対策を考えなくては」との発言をいただきました。今後も、臨床の実践、講演会など進めて行きたいと思っています。

【最後に】
質問者…読者にひとことを。
前—まず、がん疼痛の治療に神経ブロックという選択肢があることを知ってほしい。大切なひとががんの痛みで苦しんでいる時、勇気を持って相談してください。もしかしたらまだ痛みを取る方法があるかもしれません。
服部—がんの痛みで体力を消耗しては、がんそのものの治療もできなくなるし、がんと闘ってくれている自己免疫力も低下します。鎮痛薬の調整、神経ブロックや脊髄鎮痛法の適応判断など、我々でできることをどんどん提供していきたいと思っています。

■ 市民公開講座と国際学会参加 ～最新のヘルニア医療を発信～

Annual International Congress に 当院から医師 3 名が参加



2026 年 6 月に、ポルトガルのアルファンデガ・ポルト・コングレスセンターで開催された第 48 回 Annual International Congress (ヨーロッパヘルニア学会) に、当院の医師 3 名が参加し、日頃の診療や研究成果を発表しました。学会では、欧州を中心としたヘルニア外科の最新動向について学び、低侵襲手術や腹壁再建、メッシュの選択、術後疼痛・再発予防、教育体

制などに関する知見を深めました。また、現地病院の手術室見学では、手術環境やチーム医療、医療機器の運用について理解を深める貴重な機会となりました。

今回得られた知識と経験を生かし、鼠径ヘルニアや腹壁癒痕ヘルニア、ロボット支援ヘルニア修復術など、より質の高い医療の提供に努めてまいります。



ポートワインを熟成する葉巻型オーク樽



(左から) 鹿川大二郎先生・Filip Muysoms 教授・井谷史嗣先生・江崎恵史郎先生



手術室

市民公開
講座開催

成人のあらゆる 腹部ヘルニアに対し専門性の高い治療



2026年6月20日、近隣の商業施設において、市民公開講座「成人のあらゆる腹部ヘルニアに対し専門性の高い治療」を開催。当日は地域の皆さまにご参加いただき、当院「腹部総合ヘルニアセンター」の取り組みや最新の治療について紹介しました。

冒頭で山城聡院長代行がセンター設立の意義を説明、続いて井谷史嗣ヘルニアセンター長が腹部ヘルニアの種類や受診の目安、専門的な治療内容について分かりやすく解説しました。

また、内間恭武消化器外科主任部長はロボット支援手術の特徴や低侵襲治療のメリットに加え、将来の遠隔手術の可能性について紹介。さらに、鹿川大二郎ヘルニア副センター長は口

ボット支援ヘルニア修復術の導入状況と治療実績を報告し、多くの患者さんが手術翌日に退院されていることや、国内でも限られた腹部ヘルニア指導医（プロクター）が2名在籍していることを紹介しました。質疑応答では質問が寄せられ、参加者の関心の高さがうかがえました。



(左から) 山城 聡 先生・井谷 史嗣 先生
内間 恭武 先生・鹿川 大二郎 先生



● 地域医療を支える新ドクターカーリニューアル

救急現場へ医師、看護師、救急救命士が迅速に駆けつけ、救命率向上を目的に2006年運用開始し、20年近くにわたり地域医療と災害現場を支えてきたドクターカーが、この度新車両へとリニューアルしました。

これからも、各消防と連携を図りながら地域住民に安心感を与えられる活動に尽力してまいります。



● 救急現場を支える安全運転研修 感謝状を拝受

自動車安全運転センター沖縄県事務所様より感謝状を拝受いたしました。当院では、救急車の緊急走行を担う職員を対象に「一般救急自動車運転技能者課程」への参加を継続して実施しています。

茨城県の安全運転中央研修所にて座学・実技訓練を受講し、安全で迅速な救急活動に努めている取り組みが評価され、今回の感謝状贈呈となりました。



● 多言語に対応する医療体制 ～在沖米国総領事館視察～

在沖米国総領事館に所属する外交官およびご家族が沖縄滞在中に安心して医療を受けられるよう、在沖米国総領事館および米国大使館より職員を招き、県内の英語対応可能な医療機関の視察が実施されました。

その一環として当院にも来院され、診療体制や受け入れ体制、多職種によるサポート体制について確認いただきました。今後も国際的な医療ニーズに対応できる環境整備に努めてまいります。





● 入院中の子どもたちへ笑顔と元気をプレゼント

当院の入院患者様へ、エイアンドダブリュ沖縄(株)様と沖縄明治乳業(株)様が共同開発した「エンダーオレンジゼリー」をご提供いただきました。「入院している子どもたちに笑顔と元気を届けたい」という両社の思いから企画されたものです。当日

は、A&W 沖縄のマスコットキャラクター「ルーティ」も病室を訪問し、ゼリーを受け取った子どもたちは笑顔を見せていました。心温まるご支援とご提供をいただき、誠にありがとうございました。



● 第 45 回ふれあいクリーンアップ大作戦に参加しました

北中城村で毎年開催されている「ふれあいクリーンアップ大作戦」の第 45 回が、6 月 21 日（日）に実施されました。北中城しおさい公苑や周辺漁港を中心に清掃活動が行われ、地域の環境美化に取り組みました。当院も参加し、地域の皆さまとともによいまちづくりに協力いたしました。



● 地域とつながる支援活動の取り組み

当院では、地域貢献活動の一環として、備蓄品の入れ替え時に食料品や飲料を 北中城村社会福祉協議会様のフードバンクへ定期的に寄付しています。今後も地域とのつながりを大切にし、必要とされる支援活動に継続して取り組んでまいります。





理学療法士
大城 瑠叶

腰痛体操

痛みの軽減など様々な効果が！

腰痛は日本人の約 80%が生涯で経験する症状で、主な原因として①体幹筋の筋力低下、②猫背・反り腰などの姿勢不良、③運動不足、④長時間の同一姿勢、⑤加齢による筋力・関節機能の低下、⑥ストレスや不安・睡眠不足といった心理社会的要因——の 6 つが挙げられます。

これらに対して有効なのが運動療法です。筋力・柔軟性の改善や血液循環の促進、痛みの軽減・再発予防が期待できます。

腰痛体操の目的は、骨盤周囲筋の柔軟性向上、体幹筋

の強化による腰椎の安定、血流促進と筋緊張の緩和、正しい姿勢の獲得、日常生活動作の改善、そして生活の質の向上です。

実施にあたっては、痛みやしびれが悪化した場合はすぐに中止し、医療機関を受診してください。呼吸を止めない・反動をつけないことも重要です。継続のコツは、隙間時間や就寝前に 5 ～ 10 分程度、正しいフォームで無理なく行うことです。習慣化が最大のポイントです。

●膝抱え運動

腰部・臀部の柔軟性向上



- ① 仰向けで片足を胸に引き寄せる
- ② 10 秒間キープ
- ③ 左右交互に 3 回ずつ行う

●骨盤後傾運動



おへそをのぞき込むように
骨盤を後ろに傾ける

●ハムストリングス ストレッチ

太もも裏の柔軟性を
高め、骨盤の動き
の改善



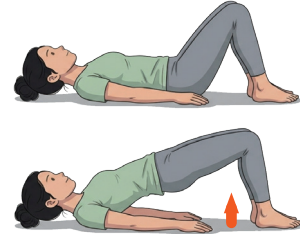
- ① タオルを足裏にかける
- ② 背筋を伸ばしたまま体を前に倒す
- ③ 20 秒間保持する
- ④ 左右交互に 3 回ずつ行う

腹筋の活性化・腰椎の安定化

- ① 仰向けで膝を立てる
- ② おへそをのぞき込むようにお腹に力を入れる
- ③ 腰を床へ押し付け 5 秒間キープ
- ④ 10 回繰り返す

●ブリッジ運動

臀筋・体幹筋の強化



- ① 仰向けで膝を立てる
- ② お尻を持ち上げる
- ③ 5 秒間保持する
- ④ 10 回繰り返す

7 月オンライン公開健康講座

※参加無料！
オンライン公開健康講座は事前申し込みが必要です。



日 付	開始時間	演 題 ※各講座は30分～60分程度を予定しております	講 師 名
7 月 6 日 (月)	[LIVE 配信] 14:00	一包化って ～飲み忘れを防ぐために～	薬剤部 伊藤 千夏
※オンデマンド配信 7 月 7 日 (火) ～ 7 月 13 日 (月) 23 : 59 迄			
7 月 14 日 (火)	オンデマンド配信	ロコモティブシンドローム～健康寿命は健康な足腰から～	理学療法士 知念 和摩
※オンデマンド配信 7 月 14 日 (火) ～ 7 月 27 日 (月) 23 : 59 迄			
7 月 16 日 (木)	オンデマンド配信	腎臓を大切にする	管理栄養士 金城 みづき
※オンデマンド配信 7 月 16 日 (木) ～ 7 月 29 日 (水) 23 : 59 迄			
7 月 27 日 (月)	[LIVE 配信] 15:00	AB I 検査について	臨床検査技師 宮城 由貴
※オンデマンド配信 7 月 28 日 (火) ～ 8 月 3 日 (月) 23 : 59 迄			
7 月 28 日 (火)	[LIVE 配信] 14:00	健康食品って何だろう？	管理栄養士 平良 萌
※オンデマンド配信 7 月 29 日 (水) ～ 8 月 4 日 (火) 23 : 59 迄			
7 月 30 日 (木)	[LIVE 配信] 15:00	マンモグラフィについて	診療放射線技師 村吉 はるな
※オンデマンド配信 7 月 31 日 (金) ～ 8 月 6 日 (木) 23 : 59 迄			

● 2026 年度 新入職員ボーリング大会開催

6月24日（水）部署や職種を越えて多くの職員が参加し、会場は笑顔と歓声に包まれました。ゲームを通して自然と交流が深まり、新入職員にとっても親睦を深める貴重な機会となりました。今後も職員同士のつながりを大切に、働きやすい職場づくりに取り組んでまいります。



互助会テニスクラブ

● 第74回沖縄県病院対抗テニス大会へ参加

沖縄県病院対抗テニス大会へ参加いたしました。日頃の練習の成果を発揮し、チーム一丸となって試合に臨みました。結果は2回戦敗退となりましたが、選手同士で声を掛け合

いながら最後まで全力でプレーし、充実した大会となりました。今後も交流と健康増進を目的に、楽しく活動を続けてまいります。



医療法人 徳洲会の基本理念

当院は下記の基本理念及び基本方針を遵守して、
「いつでも、どこでも、だれもが安心して最善の医療を受けられる社会」をめざします。

- 生命だけは平等だ -

- ◎生命を安心して預けられる病院
- ◎健康と生活を守る病院
- ◎患者さまの権利と尊厳を大切にする病院

● 理念の実行方法

- 年中無休・24時間オープン
- 入院保証金・総室の室料差額一切無料
- 健康保険の自己負担金も困っている人には猶予する
- 患者さまからの贈り物は一切受け取らない
- 医療技術・診療態度の向上にたえず努力する

外来診療のご案内

～外来受付・診療開始時間～

- ・午前 受付時間 7:30～11:00（診療開始 9:00～）
- ・午後 受付時間 13:00～15:00（診療開始 14:00～）
- ・夕診 受付時間 16:00～17:00（診療開始 16:00～）



外 来 表



よくある質問

お電話でのお問合せ

外来診療や入院に関するご質問
お問い合わせ専用ダイヤル

☎ **0570-098033**

※年中無休・24 時間

.....
ご予約済みの患者様で
予約日変更をご希望の方は
予約専用ダイヤル（AI 電話）

☎ **050-1807-3571**

※平日 13:00～17:00

2 人の主治医を持ちましょう！

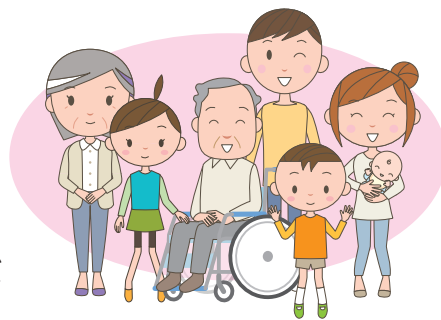


当院では『2 人主治医制』を推進しています。
患者さまおひとりに対して「かかりつけ医」と「当
院の専門医」が協力しあって、質の高い医療を提供
できるように努めています。

入院や専門的治療が必要な場合に専門医と連携



専門的な診察・検査・手術など
先進医療進、高度医療の提供



かかりつけ医



日頃の健康管理（予防・治療）
体調や生活習慣などの相談

中部徳洲会病院を受診される患者さま

中部徳洲会病院を受診される皆さまへ 重 要 な お 知 ら せ

選定療養費 について

当院は沖縄県知事より「地域医療支援病院」の承認を受けています。
地域医療支援病院には「選定療養費」の徴収が義務付けられているため、当院にお
いても紹介状をお持ちではない場合は、選定療養費を徴収させていただいておりま
す。ご理解とご協力をお願いいたします。

初 診 時 選定療養費

紹介状を持たずに当院を初診で受診される場合、
保険診療分とは別にご負担いただく費用

医科 **7,000 円** 歯科 **5,000 円**

再 診 時 選定療養費

病状が安定し、当院担当医が「かかりつけ医」への紹介を申し出た後も、
当院を受診される場合に、保険診療分とは別にご負担いただく費用

医科 **3,000 円** 歯科 **1,900 円**

「紹介状」ご持参のお願い 病気かな？と思ったら、まずは近くの「かかりつけ医」にご相談ください。